

例会報告 Rotary



ロータリーは機会の扉を開く

第2640回例会 令和3年6月25日
ガバナー卓話・会長幹事退任挨拶

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 堺 和信
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 下屋 勝比古
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 榎坂 純一

<会長の時間>

本日の会長の時間は、後程の退任挨拶に替えさせていただきます。

<幹事報告>

◎ガバナー、地区大会実行委員長より

・「2019-2020年度ロータリー財団
年間協力優秀クラブ賞」 受章

・2020-2021年度地区大会記録映像
発送および配信のご案内

- 第1部 <https://www.youtube.com/watch?v=n4Dd0y81B9w>
- 第2部 <https://www.youtube.com/watch?v=0LOm2ZFmB3k>
- 第3部 https://www.youtube.com/watch?v=wBltwy_WUvY
- 第4部 <https://www.youtube.com/watch?v=FZcZnKUS2I>

◎ガバナー、地区青少年交換部門委員長より

- ・国際青少年交換 2022-2023 夏期派遣学生募集案内
- 派遣先 米、豪、新、仏、諾 等
- 資格 クラブの推薦する男女高校生(願書提出時在学中で中学3年生、高校1年生・2年生の者)で、学業成績は平均以上で、日本国籍を有する者
- 期間 2022年8月より1年間
- 選考日 7月25日(日) ホテルグランヴェール岐山
- 内定通知 8月中旬。推薦クラブ会長宛に通知する
- 回答期限 7月9日(金)必着

◎濃飛グループガバナー補佐 大森 清雄 様より

・GTM報告書の送付について

◎2021-2022年度ガバナー、地区ロータリー財団部門委員長より

・第1回ロータリー財団研修セミナー中止のご案内
10月17日(日) 予定の第2回セミナーと統合して開催予定

◎ロータリー財団部門委員会 補助金小委員長 より

・2021-22年度地区補助金支給内定の通知支給予定額 \$11,450

◎次期濃飛グループガバナー補佐 住 宏夫 様より

- ・第1回ガバナー補佐訪問について
日時：7月16日(金) 会長幹事懇談 11:45~12:15
例会中スピーチ 10分
- ・ガバナー杯チャリティーゴルフ大会濃飛グループ予選開催について
日時：10月9日(日) 8:17スタート
会場：飛騨高山カントリークラブ
※ 各クラブ1チーム(4名)にて参加

◎RI日本事務局より

・6月のロータリーレートについて1ドル 109円(5月109円)

◎高山市民憲章推進協議会より

・高山市民憲章推進協議会実践者表彰について

◎一般社団法人ロータリーの友事務所より

・ロータリー日本100年史 先着順予約販売のお知らせ¥6,600

<受贈誌>

米山記念奨学会(ハイライトよねやま255)、高山中央および美濃加茂RC(会報)、(社)高山市文化協会(広報高山の文化No228)

<出席報告>

	出席者数	会員数	出席率
本日	31名	36名	86.11%

<5、6月のお祝い>

◎会員誕生日

塚本 直人 5. 7

◎夫人誕生日

(当日、ご自宅へ花束をお届け)

塚本 直人 智子 さん 5. 13
萱垣 敬慈 真美 さん 5. 11
下屋 勝比古 ひとみ さん 6. 20
新井 典仁 由美 さん 6. 1
黒木 正人 まり子 さん 6. 12

◎結婚記念日(当日ご自宅にお菓子をお届け)

折茂 謙一 S38. 5. 6
井辺 一章 S52. 5. 12
斎藤 章 S56. 5. 25
堺 和信 S61. 5. 18
新井 典仁 H14. 5. 25
松田 康弘 H7. 5. 14
高井 道子 S62. 5. 2
塚本 直人 H13. 6. 29

◎在籍周年記念表彰

伊藤 松寿 45年

◎出席表彰



田中 武 16年



下屋勝比古 3年

◎3ヶ月表彰

・伊藤 松寿 ・井辺 一章 ・下屋勝比古 ・杉山 和宏
・田中 武 ・堀 幸一郎 ・松田 康洋 ・米澤 久二

例会報告

<ガバナー卓話>

国際ロータリー第2630地区

ガバナー 剣田 廣喜 様

皆様こんにちは。コロナで始まり、コロナで終わろうとしております2020年-21年度が残りあとわずかとなりました。ガバナー活動の場がバーチャルになりまして、力を尽くしきる時間を作ることが出来ずに終わりを迎えるということで心残りがありますが、私2回目ですので比較的冷静に対応をさせていただいています。会員の皆様にも言われましたが、こういう非常時には私がガバナーで良かったのかなというふうに考えております。

私たちはもともと1つのものを区別し選び取ろうとして苦しんでおります。例えば、出会いと別れは1つのものなのに出会いを喜び別れを悲しんでおります。また、成功を求め失敗を恐れ、また幸福を願い不幸を嫌っております。しかし、これらはすべて表裏一体のものであります。出会いと別れの始まりですし、失敗は成功の母、そして不幸なき幸福はないということを失念している訳です。そこから言いますと今年度大変な年度でありましたが、次年度と一体であるという考えをしますと、今年度にコロナという露払いをさせていただき、次年度の村田ガバナーが日本一の土俵入りをしていただくという風に考えれば、大変意義のある年度であった、という考え方ができると思います。すべてがセットになっている考え方をしますと非常に気持ちが楽になるということをもっと申し上げたいと思います。

こういうコロナ禍の中で、国際ロータリーは今、大きく変化をしようとしておりますので、只今からその変化についてお話をさせていただきます。RIの大きな変化は大きく分けて四つございます。その一つがDEI=多様性・公平さ・開放性という、新しい組織方針が決められました。そして2番目は新しいロータリーの会員組織の未来形成=シューティングロータリーフューチャー=SRF、そして3番目が今計画をしております、グローバル会員制度でございます。これは25歳から40歳までの若い専門職や起業家をターゲットにして、ロータリークラブに所属しないロータリー会員というものです。RIがどうして若い人が入ってこないのかというアンケートを取りましたところ、若い人は伝統的なクラブだとか、組織というものをあまり好きじゃなくて、そこから離れたところで活動したいということで、今試験的プログラムが行われておりまして、来年世界大会の行われるヒューストンでその成果が発表されることになっております。それから4番目がロータリーアクトのロータリークラブ化でございます。昔は、RIはロータリークラブの集合体でしたが、2019年の7月からはロータリークラブとロータリーアクトの集合体になっております。

この中で1番のキーワードはDEIとSRFでございます。皆様にご存知だと思いますが、森元首相が公職追放になりました原因は女性蔑視をしたということでありまして、その代わりに橋本聖子さんが組織委員長になりましたが、彼女が最初に何をやったかと言いますと女性理事を40%にしました。そのようなことを含めて、今世の中がどのように動いているか、ある意味では男性社会から男女平等社会にすることが当然の正義だという状況になっているということをお話させていただきたいと思っておりますし、国際ロータリーも同様であるということです。2019年のRI理事会の決定で、国際ロータリーは多様性、公平さ、インクルージョン方針を承認しました。多様性はダイバーシティ=Diversity、公平さはエクイティ=Equity。そしてインクルージョン=Inclusion、DEIだそうなんです。



そして「持続可能な良い変化のために人々が手を取り合って行動する世界をつくらうと努力する世界的なネットワークとしてロータリーは多様性を尊重し、年齢、国民性、民族性、人種、肌の色、能力、宗教、性的指向、性同一性などにかかわらず、どんなバックグラウンドの人々の貢献も称えます」と2019年1月のRI理事会で決定されました。DEIがどうして方針として決定されたかと言いますと、会員基盤の強化、会員の多様性、女性会員の増強と女性リーダーの育成など、これが大きな狙いではないかと思われまして。2023年に女性初めてのRI会長が誕生するわけでございます。ジュニアファウンダー・E・ジョーンズ氏は会長ノミニー就任の抱負でDEIを積極的に推進したいと述べられておられます。このDEIにつきましては、現在、欧米ではさまざまな企業や団体が取り組んでおり、日本でも大手の企業を中心に、このような方針を打ち出すところが多くなりました。RIもこのような世界的潮流に乗り遅れまいと急速にDEIを推進しているものと思われまして。

それでは、多様性=ダイバーシティの説明をさせていただきます。ダイバーシティ=多様性は色々な人が居るということでありまして。組織の中にいろんな人たちがいるということでありまして。性別、国籍、性的嗜好も関係なく、障害の有無を問わず多様な人が差別無く活動することを、ダイバーシティと言います。インクルージョンはダイバーシティを一步進めたような、多様な人材が実際に組織に参加し、価値を發揮できるような状況に持っていくことを意味しております。エクイティについて説明をさせていただきます。エクイティとは公正という意味でございます。その似た言葉にEquality=エクワリティ=平等があります。両者は似ていますが、意味するところが違います。エクイティとエクワリティの違いを理解することがエクイティを理解するのに大変役に立つということでございます。エクワリティっていうのは平等ということですから背も大きい人、小さい人がいるところに平等に台を置くわけです。そうしますと背の高い人はりんごを取れますけど、背の低い人は取れない。だからその人に合わせ、台を二段、三段と用意する、結果的平等がエクイティです。その考え方を導入したのがロータリーアクトクラブのロータリークラブ化です。2019年の規定審議会はRIの組織規程を改正し、その結果、ロータリーアクトクラブが国際ロータリーの加盟クラブに含まれることになったわけでありまして。これは、若年層の参加と女性に門戸を開く、そういうロータリーに転換したというふうには私は思っております。そして、会員資格や例会の柔軟性の導入による門戸の拡大=インクルージョンすることによって、伝統的クラブの抜本的な改革をしようとしていると思われまして。2024年に始まりますロータリーアクトの人頭分担当金が、8ドルです。RYLAの基盤の人頭分担当金は5ドルで、ロータリアンは今69ドルで来年からは70ドル、要するに10分の1です。今ロータリーアクトの年齢制限がなくなり、また権利も一緒なものですから、ロータリアンの中には、ロータリーアクトになって会費1/10の方がいいんじゃないかということ言われる方がいらっしやいます。しかし、そういう弱い立場の人に権利は一緒にするっていうのがエクイティの考え方でありまして。そしてSRFです。ロータリーの未来形成委員会というのが今立ち上がってしまっていて日本中のロータリーが大騒ぎしていますが、DEIを前提として国際ロータリーはこれから9年後、SRF試験プロジェクトということで、今までは2630地区という名称がありましたが、この地区を消滅させてセクションに細分化することを計画し、ガバナーという基本的な制度をやめる。そして現在はピラミッド型の組織ですけど、これをフラット型にしようという計画をしております。現状SRFの組織改革案はまだ不確定な部分も多く、今後RIでの議論の中でさらに明確になって行くと思うので、来年規定審議会で、単に地区のガバナンス変更のパイロットプログラムをRIが行うことを認めるという、パイロットプログラムの実施を問う提案だけありますので、中身までは議論にならないということで、たぶんこのパイロットプログラムの案

例会報告

は認められるということになります。それが6年ほどかけて様々な議論が出てくるとは思いますが、その段階で正確な情報を元に日本としての意見を発信し、RIに積極的に提言していくことが求められると思います。DEIは今、国際ロータリーもアメリカの民主党も同じで、大きく舵を切りました。ジェンダーエクイティ、男女間の不平等の解消を目指す、SDGs持続可能な開発目標。さまざまな部分での、今の世の中の変更、迎合とは言いませんが、変更に関わって自分たちにも大きく変わっていくことを決定している、そういうことをご理解いただきたいと思います。そしてSRFは9年後に、大きな変化として、我々の身にかかわってくることを皆さんご理解していただきたいと思います。ただ、70歳以上の会員の10年後と言いましても難しいような気がしますので、40代50代の会員は、この変化に対応する準備をしていかなければならないというふうに考えております。

さて、高山西ロータリークラブの10年でございます。高山西ロータリークラブは10年後に向けてどうすればよいのでしょうか？これは皆様に考えていただければと思います。私が「こうせい、あせい」と言う立場ではございません。ただ、私からのご提案の1つは、世の中の変化。女性蔑視のような言葉は、これからは言えなくなるということです。そのような世の中について理解すべきだと思います。そしてもう1つ、高山西ロータリークラブはインクルーシブ、開放的なクラブになるべきなのだろうかということについても議論していただきたいというふうに思います。1人歩きを始めたRIに関しまして、高山西ロータリークラブは賛同し同じ道を歩むのか、無関心なのか、またクラブ細則にRIとは異なるクラブの自治権を明示するのか、3極化を示しております。

これは私の考えでございます。RIの方針、考えが地区とかガバナリーに今全然反映してないですね。特にアメリカに反映してない。アメリカの衰退は本当に目を覆うばかりです。以前は42万人の会員が居たのに、今30万人を切っております。そして1/3は女性会員になります。そして、まだまだ会員減少が止まらないということですね。そのためにDEIとかSRFという考え方が出てまいりました。DEIは聞こえは良いですけど、私に言わせれば殺人者以外は誰でも入っていいという考えだと思っております。要するに会員増強のためならなんでもやろうということです。理念なき会員増強というのは結果的にロータリーの衰退につながるということでもあります。なぜRIはこのような状態になったのでしょうか？DLPから始まって柔軟性まで、RIが実施してきた施策に対する総括がなされていないまま、さらにパッチワークのようなやり方を続けることが原因ではないかと思っております。そのためにはロータリーのあり方そのものを提言する必要があると思います。お上からのお達しをひたすら待つ姿勢、RIのいう通りに従順でおとなしいRIのポチになるのではなくて、日本の意見を堂々と提言する、困難を突破するリーダーが今求められております。

ご清聴どうもありがとうございました。

<会長幹事退任挨拶>

幹事 下屋 勝比古

まず、堺会長にはこの1年ご苦労様でした、そしていろいろご指導いただきありがとうございました。

毎週、例会が開催されることが当たり前だったことが、普通ではないことだと強く感じた1年でした。昨年度の後半から例会変更や中止が相次ぎ、今年度はもう少しマジになるかと思いましたが、



令和3年になり感染が広がってしまいました。予定した会員の皆様と深く交流できる行事（クリスマス・新年・新緑）が相次いで中止となる異様な後半戦でした。会長と例会変更や中止を決断していく過程には、悔しさと、絶対に感染者を出せない責任の中でたくさん悩ませていただきました。

そんな中でも、創立55周年を盛大に開催することができたこと、出前講座が開催できたことは、なんとか今年度の足跡として残せたものと思います。そしてわたしが提案させていただいた「ハンドボール体験」には、皆様の協力のもと、たくさんの小学生が集いハンドボールをブラックブルズの選手と共に体験してくれたことは、思い出に残る事業でした。体験会后、少年団へ入団した参加者が複数いたことや、協会が中心となって継続した体験会を企画するなど、高山のハンドボールを一層盛んにすることにつながる活動になりました。

さて、飲食や観光という高山の基幹産業が大きな打撃を与えた新型コロナウイルス感染症ですが、会の存続に関わる会員の減少に大きな悩みが募るばかりです。次年度の鴻野会長・向井幹事には大きな課題も山積での出航とはなりますが、みんなの知恵とパワーを結集して乗り越え高めてまいります。

最後に、個人的には思いがけない病気が見つかり、2月には大きな手術を受けました。皆様方には多大なご心配やご迷惑をおかけしました。まだまだ体調万全とはいえませんが、元氣しか取り柄がないので、張り切ってやっていきますので、どうぞよろしくお願いたします。1年間ありがとうございました。



会長 堺 和信

この1年を振り返ってみると、何と言っても新型コロナウイルス感染症の対応に振り回された1年でした。1年前に事業計画を立てる上で、半年後には新型コロナウイルス感染症もある程度収束し、宴会などの親睦活動がこれまで通り出来るのではないかと予測し事業計画を

立てていましたが、今年に入り感染は拡大し2度にわたる緊急事態宣言により、約5カ月間例会の休止を余儀なくさせられました。計画していた例会プログラムも大きく変更し、部門長・委員長・講師の方々には大変ご迷惑をおかけしました。

もう一つ想定外だったことは、前年度末に多くの退会者が出たことです。ここ数年間は会員の減少により、会費収入だけでは予算が立てられず、特別会計からの繰入金をして予算を立ててきました。本年度はその状況を改善するために組織改革と、継続事業の見直しをしてきましたが、予想を上回る退会者が出たことにより会費収入が大きく減少してしまいました。しかし、前年度も新型コロナウイルス感染症の影響で3カ月間例会が出来ず、例年より多くの繰越金により特別会計からの繰入金無しで予算を立てることが出来ました。また、次年度も多くの繰越金により予算を立てることが出来たと思いますが、現状の会員数ではクラブの存続に関わり会員増強が早急の課題です。

このような状況の中でも、前半に多くの事業が出来ました。8月9日には第73回のソフトミニバレーボール、11月6日には松倉中学校での出前講座、12月5日にはロータリー財団地区補助金事業である「ハンドボール講習体験会」を行うことが出来ました。そ

例会報告

して、11月21日には創立55周年記念式典・記念事業・祝賀会を開催することが出来ました。

会長になって役職自体は大変だとは思っていませんでしたが、毎週の「会長の時間」に何を話そうか考えることが大変でした。このことは、会長経験者は皆さん同じではなかったかと思えます。しかし、この「会長の時間」こそが会長の考えや思いを会員に伝える場であり、会長として一番重要にしななければならない時間ではないかと思えます。本来「会長の時間」は、クラブ活動やロータリー全般に関わる情報を提供し、会長にとっても、また会員にとっても、毎週のクラブ活動の状況を知るうえで大変貴重な時間とされています。私も、出来るだけその週に行った活動の報告や感想、その活動の歴史等についてお話をさせていただきました。創立55周年式典では、日本にロータリークラブできて100周年ということで、東京ロータリークラブの創立から全国各地にロータリークラブが出来るまでをお話をさせていただきましたが、私自身ロータリーの知識や情報をそれほど多く持ち合わせるわけでもなく、ロータリーの話だけをするということは出来ませんでしたし、その話ばかりでもつまらないと思えました。今年度26例会しかできませんでしたが、その中でロータリーに関する話をしたのは9例会だけでした。それ以外は、新聞やニュースを見ている中で、私自身が気になった記事や出来事を調べ、自分の意見や考えを交え出来るだけ皆さんにわかりやすく伝えようと思ひ話をしてきました。このことには、本当に多くの時間を費やしました。

もう1つ私が拘ったことは、例会の閉会前に、その日の講師の卓話やプログラムの内容について、感想を述べるということです。そのことは、講師やプログラムを企画した委員長さんへの礼儀ですし会長の仕事だと思ったからです。そのためには、例会中は話を真剣に聞き聞いていなければなりません。

そして、うれしかったことは米山記念奨学生だったメイ・スイートさんへの学資支援金を募ったところ、皆さんから本当にたくさん募金に協力を頂いたことです。高山ロータリークラブ、高山中央ロータリークラブの会員の方々にも協力を頂きました。メイさんが金額を聞いて大変驚かれ、嬉しそうに感謝を述べられたことが印象に残っています。

最後になりましたが、皆様方のご理解とご協力により1年間会長を務めさせていただきました。そして2度の手術を受けながら驚異的に回復力により復帰し私を支えて頂いた下屋幹事さん、本年度は仕事を増やさないように努力しましたがどうしても頼ってしまう中澤さんに感謝を申し上げたいと思います。1年間、本当に有難うございました。

<ニコニコボックス>

●国際ロータリー第2630地区 ガバナー 釦田 廣喜 様

最終例会にて卓話の機会をいただきました。宜しくお願いします。

●堺 和信さん、下屋 勝比古さん

- ・釦田ガバナーの最終例会へのご来訪を心より歓迎いたします。地区大会も出来ない年度でしたが、総括をお願いいたします。
- ・新型コロナウイルスに振り回された1年でしたが、何とか無事に最終例会を迎える事が出来ました。皆様には大変なご心配やご迷惑をお掛けしましたが、益々の発展を祈念し感謝申し上げます。ありがとうございました。

●阪下 六代さん

釦田ガバナーのご来訪を歓迎申し上げます。今年度は新型コロナ禍のあおりで大変ご苦労なさったと拝察します。本当にお疲れ様でした。

●鴻野 幸泰さん、向井 公規さん

- ・本日はお忙しい中釦田ガバナーのご来訪歓迎いたします。よろしくお願ひ致します。

・堺会長・下屋幹事「今、ロータリーとして何が出来るのか」の基本方針の下、コロナ禍が続きご苦労が絶えなかったと思えますが、一年間お疲れ様でした。大変な状況の中だからこそその運営を、次期会長幹事として学ばせていただきました。この先の状況はまだはっきりとは分かりませんが、次期に活かせるようにしていきたいと思ひますので、皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

●挾土 貞吉さん

- ・釦田ガバナーのご来訪心より歓迎いたします。ご苦労様でした。
- ・コロナ禍での堺和信会長・下屋勝比古幹事さん他、理事役員皆さん一年間ご苦労様でした。今期も皆さんたちは思いの事業が中途半端に終わり残念な幕切れかと思ひます。しかしロータリーは不滅です。プラス思考で次なるチャンスを求めつつ次年度に協力し、今後は地区役員等も積極的に引き受け、己の転職を高め、更なる磨きをかけて活躍され、なお我が西クラブの発展に尽力されること、ひたすら願ひばかりです。7月新年度は鴻野・向井丸の船出です。明るく楽しい例会運営期待しています。

●垣内 秀文さん

堺会長、下屋幹事、一年間お疲れ様でした。コロナ禍で思うように事業が出来ずご苦労が絶えなかった事とお察しいたします。財団事業では高山のハンドボールを大いに盛り上げ大成功裏にやり遂げました。本当にありがとうございます。まずはホッとしている事でしょうが、またすぐ次期が始まります。さらに頑張ってくださいと思ひます。

●平 義孝さん

高山西ロータリークラブ創立55周年記念誌、山都印刷で製作させていただきましたこと、皆様に御礼申し上げます。ありがとうございます。

●下屋 勝比古さん

昨日まで病院におりましたので、本日最終例会の幹事を交代させていただきました。皆さん、暴飲暴食はほどほどに。

●黒木 正人さん

6月18日に9年3ヶ月の内8年間代表理事を務めさせていただきました飛騨信用組合を退任し、岐阜市で行政書士事務所を開くことになりました。高山西ロータリークラブの在籍期間は6年5カ月でしたが、皆様には大変良くして頂きありがとうございます。田中武親分、ゴルフではまだ負けていますが、千円札はたんまり用意していますので、ゴルフ岐阜遠征の際は誘って下さい。

●萱垣 敬慈さん

今月末をもって高山西ロータリークラブを退会する事となりました。入会から5年、皆様より戴きましたご厚情に厚くお礼申し上げます。本来であれば直接皆様にご挨拶すべきではありますが、この様な挨拶となった非礼をお詫びいたします。末筆ながら皆様方のご健勝と、高山西ロータリークラブのご発展を心より祈念申し上げます。

●塚本 直人さん、伊藤 松寿さん、田近 毅さん、内田 幸洋さん、斎藤 章さん、田中 武さん、米澤 久二さん、門前 庄次郎さん、遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん、田邊 淳さん、松田 康弘さん、堀 幸一郎さん

本日は2020-2021年度最終例会です。釦田ガバナーご来訪ありがとうございます。堺会長・下屋幹事お疲れ様でした。コロナ禍の中ご苦労も多かったと思ひます。堺会長の会長の時間は毎回勉強になりました。下屋幹事の元気に救われました。1年間ありがとうございます。

●田中 晶洋さん、平 義孝さん、鴻野 幸泰さん、中島 一成さん

まだまだコロナも落ち着いていませんが、まん延防止等重点措置も解除されました。オリンピックに向けて明るい話題が多くなり、観光都市高山にも活気が戻ることを願ひつつ、ロータリアンが中心となって盛り上げて行きましょう。